



## 平成25年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月29日

上場会社名 株式会社 アインファーマシーズ  
 コード番号 9627 URL <http://www.ainj.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年9月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 札

(氏名) 大谷 喜一

(氏名) 水島 利英

TEL 011-783-0189

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年4月期第1四半期の連結業績(平成24年5月1日～平成24年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第1四半期	36,257	6.8	2,255	0.3	2,328	2.4	912	△12.9
24年4月期第1四半期	33,940	10.2	2,249	43.9	2,273	43.9	1,047	46.6

(注) 包括利益 25年4月期第1四半期 1,039百万円 (△0.8%) 24年4月期第1四半期 1,047百万円 (67.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第1四半期	57.22	—
24年4月期第1四半期	65.71	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年4月期第1四半期	89,527	33,988	37.9	2,129.94
24年4月期	85,908	33,745	39.2	2,113.79

(参考) 自己資本 25年4月期第1四半期 33,952百万円 24年4月期 33,695百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	0.00	—	50.00	50.00
25年4月期	—	—	—	—	—
25年4月期(予想)	—	0.00	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年4月期の連結業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	76,350	10.9	4,890	2.3	4,950	1.6	2,480	4.9	155.54
通期	157,500	10.3	11,510	12.3	11,630	10.3	6,010	22.7	376.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年4月期1Q	15,944,106 株	24年4月期	15,944,106 株
25年4月期1Q	3,366 株	24年4月期	3,316 株
25年4月期1Q	15,940,757 株	24年4月期1Q	15,941,004 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成24年5月1日～平成24年7月31日)におけるわが国の経済は、依然として厳しい状況にあるものの、復興需要を背景として、設備投資、生産、企業収益を中心に、緩やかながら回復基調で推移いたしました。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規出店及びM&Aとともに、医療モール開発を推進し、また、都市型ドラッグストアの駅ナカ出店、既存店のMD改善を継続し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における業績は、平成24年4月の薬価及び調剤報酬改定の影響により、売上高が362億5千7百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益は22億5千5百万円(同0.3%増)、経常利益は23億2千8百万円(同2.4%増)となり、また、四半期純利益は投資有価証券の売却・評価損等により、9億1千2百万円(同12.9%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (医薬事業)

医薬事業は、平成24年4月の薬価改定において、公定薬価が平均6.25%の引下げとなる一方、処方日数の長期化により、調剤薬局既存店の処方箋1枚当たりの単価、薬局売上高は、概ね前年並みで推移いたしました。

新規開発に関しては、従来の門前型調剤薬局の出店、M&Aの実施に加え、医療モールの開発を推進し、調剤薬局の経営のほか、施設開発、クリニック誘致等グループ内で総合的に取り組んでおります。

また、薬学部6年制への移行に伴う新卒薬剤師不在期間が経過し、当社グループで190名弱の新卒薬剤師を新規採用のうえ、1ヶ月の合同研修実施後に全国のグループ薬局に配置いたしました。

薬局管理業務の効率化においては、グループ間にて店舗譲渡を行い、事業エリアを整備するとともに、株式会社アインメディカルシステムズとの合併(合併期日:平成24年8月1日)により、首都圏の調剤薬局を直営事業化いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、319億8千7百万円(前年同期比6.2%増)、セグメント利益は28億4千6百万円(同5.2%増)と増収増益を確保いたしました。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計15店舗の出店を実施した結果、当社グループにおける薬局総数は509店舗となりました。

## (物販事業)

物販事業は、個人消費が回復基調で推移するなか、ドラッグストア事業は、同業間の出店及び価格競争に加え、昨年の震災後特有の需要の反動もあり、依然として厳しい市場環境が続いております。

当社では、このような環境において、都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」のコンセプトである「ドラッグ&コスメティック」を明確にし、都市部の特に集客力の高いエリアへの出店を継続しております。

また、商圈・立地に対応した店舗単位のMDの強化、モバイル販売促進の拡大等により収益力を強化するとともに、子会社株式会社アインメディオのドラッグストア事業を会社分割により当社直営化し、運営管理部門の効率化を実現いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、41億5千3百万円(前年同期比10.6%増)、セグメント利益は5千8百万円(同34.6%増)と売上・利益とも前年同期を上回りました。

同期間の出店状況は、アインズ&トルペ中野セントラルパークイースト店(東京都中野区)、横浜ポルタ店(横浜市西区)の2店を出店し、郊外型1店の閉店により、ドラッグストア店舗総数は57店舗となりました。

## (その他の事業)

その他の事業における売上高は1億1千6百万円、セグメント損失は9千4百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より36億1千9百万円増の895億2千7百万円となりました。

主な要因は、事業規模の拡大に伴い、たな卸資産、未収入金、建物等の有形固定資産及び敷金保証金が増加したことによるものであります。

負債の残高は、33億7千6百万円増の555億3千8百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加によるものであります。

有利子負債の残高は、5億1千3百万円減少となる122億2百万円となりました。

純資産の残高は、2億4千2百万円増の339億8千8百万円となり、自己資本比率は1.3ポイントマイナスとなる37.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の新店及び既存店の業績動向ならびに今後の出店計画を勘案した結果、現時点においては、平成24年5月30日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後(連結子会社は平成24年4月1日以後)に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,935,326	14,778,887
受取手形及び売掛金	10,985,402	10,765,598
商品	8,138,749	10,412,619
貯蔵品	114,663	109,621
繰延税金資産	891,515	929,825
短期貸付金	606,000	156,000
未収入金	2,757,752	5,086,661
その他	917,774	664,536
貸倒引当金	△26,875	△25,777
流動資産合計	40,320,310	42,877,971
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,048,953	7,468,513
土地	5,621,786	5,711,123
その他(純額)	2,586,164	2,539,265
有形固定資産合計	15,256,904	15,718,901
無形固定資産		
のれん	17,664,823	17,670,137
その他	990,546	996,183
無形固定資産合計	18,655,369	18,666,321
投資その他の資産		
投資有価証券	2,825,629	2,704,227
繰延税金資産	1,122,782	1,038,837
敷金及び保証金	5,758,338	6,475,625
その他	2,208,196	2,287,407
貸倒引当金	△256,986	△255,786
投資その他の資産合計	11,657,961	12,250,310
固定資産合計	45,570,235	46,635,533
繰延資産		
株式交付費	17,748	13,827
繰延資産合計	17,748	13,827
資産合計	85,908,294	89,527,332

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	22,524,795	27,804,402
短期借入金	6,397,458	6,596,640
未払法人税等	2,739,772	845,132
預り金	7,714,207	7,827,511
賞与引当金	965,445	1,010,072
役員賞与引当金	12,846	5,174
ポイント引当金	302,011	302,011
その他	2,288,815	2,478,173
流動負債合計	42,945,352	46,869,119
固定負債		
長期借入金	6,318,430	5,605,656
退職給付引当金	1,448,905	1,508,827
その他	1,449,631	1,555,209
固定負債合計	9,216,967	8,669,692
負債合計	52,162,319	55,538,812
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,682,976	8,682,976
資本剰余金	7,872,970	7,872,970
利益剰余金	17,426,435	17,541,453
自己株式	△5,627	△5,837
株主資本合計	33,976,755	34,091,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△281,315	△138,710
その他の包括利益累計額合計	△281,315	△138,710
少数株主持分	50,535	35,667
純資産合計	33,745,975	33,988,520
負債純資産合計	85,908,294	89,527,332

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)
売上高	33,940,547	36,257,718
売上原価	28,606,428	30,356,263
売上総利益	5,334,119	5,901,455
販売費及び一般管理費	3,084,852	3,645,983
営業利益	2,249,266	2,255,471
営業外収益		
受取利息	15,700	14,495
受取配当金	21,717	19,514
受取手数料	12,980	13,608
不動産賃貸料	25,557	28,879
業務受託料	27,085	34,469
その他	45,677	47,454
営業外収益合計	148,719	158,423
営業外費用		
支払利息	48,127	35,482
債権売却損	16,894	17,712
不動産賃貸費用	8,935	9,281
貸倒引当金繰入額	30,000	—
その他	20,262	23,192
営業外費用合計	124,219	85,669
経常利益	2,273,766	2,328,225
特別利益		
投資有価証券売却益	3,465	—
固定資産売却益	—	10,881
受取保険金	—	50,000
その他	—	809
特別利益合計	3,465	61,690
特別損失		
固定資産除売却損	17,430	37,299
投資有価証券売却損	3,466	107,387
投資有価証券評価損	48,706	209,958
減損損失	65,583	—
役員退職慰労金	7,000	310,000
その他	20,755	17,089
特別損失合計	162,942	681,734
税金等調整前四半期純利益	2,114,288	1,708,181
法人税等	1,076,808	810,991
少数株主損益調整前四半期純利益	1,037,480	897,190
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△10,074	△14,867
四半期純利益	1,047,554	912,057



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,037,480	897,190
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	10,192	142,604
その他の包括利益合計	10,192	142,604
四半期包括利益	1,047,672	1,039,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,057,746	1,054,662
少数株主に係る四半期包括利益	△10,074	△14,867

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年5月1日至平成23年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,129,823	3,756,884	53,838	33,940,547	—	33,940,547
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3,306	3,306	△3,306	—
計	30,129,823	3,756,884	57,145	33,943,854	△3,306	33,940,547
セグメント利益又は損失(△)	2,705,484	43,342	△19,392	2,729,434	△455,667	2,273,766

(注) 1. セグメント利益の調整額△455,667千円には、全社費用が416,143千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が17,170千円、セグメント間取引消去が22,353千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成24年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,987,482	4,153,567	116,668	36,257,718	—	36,257,718
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3,306	3,306	△3,306	—
計	31,987,482	4,153,567	119,975	36,261,025	△3,306	36,257,718
セグメント利益又は損失(△)	2,846,777	58,355	△94,521	2,810,611	△482,386	2,328,225

(注) 1. セグメント利益の調整額△482,386千円には、全社費用が455,820千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が5,287千円、セグメント間取引消去が21,277千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。